

「海の出前授業」派遣レポート

- ・都道府県 東京都
- ・派遣先（学校名）東京都大田区立池上小学校
- ・授業タイトル 温暖化が水産業へ及ぼす影響 ―魚の暮らしはどう変わるのか？―
- ・講師名 日下彰（水産研究・教育機構 中央水産研究所）
- ・派遣年月日 2019 年 7 月 6 日

派遣者コメント

同校の体育館において5学年の95人の生徒さんに出前授業を行いました。

近年、温暖化が原因とみられる現象で暖海性魚の出現が相次いでいること、反対に冷水性魚の出現が減っていること、成層化が進むと植物プランクトンが減り、それを食べる上位の生物が減る・・・というように海洋生態系が大きく影響を受ける可能性があること、温暖化を検知するにはモニタリングが重要ということなどをお話し、最後に調査船調査のようすなども紹介しました。

暖海性魚の出現を述べる前に、海水温の分布は気温と同様に北へ行くほど冷たくなること、魚は水温変化に敏感に反応すること、魚には暖かいところを好む魚と寒いところが好む魚がいること、植物プランクトンが生きるためには陸上の植物と同じように光合成を行い、その成長には光と栄養分が必要なことなど、説明スライドの中にイラストや動画、新聞記事などをふんだんに盛り込みながら丁寧に説明するように心がけました。また、私からの一方通行な話にならないよう、簡単なクイズを適宜挟んで生徒さんから注意を引き続けるように努めました。私なりに試行錯誤した甲斐もあったのか、生徒さんの反応も良く、最後の質問コーナーの時間には次々と手が上がり、関心を持って頂けたことがとても嬉しく感じました。

最後にこのような機会を与えて下さった池上小学校教職員の皆様、5年生のみなさん、そして海洋学会関係各位にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

